

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障害者自立支援法成立10周年記念フォーラム
事業主体 (連絡先)	諏訪地域障がい福祉自立支援協議会 (諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス)
事業区分	②保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	704,581 円 (うち支援金: 375,000 円)

#### 事業内容

共生社会の実現をめざす障害者自立支援法の成立10周年を記念し、この間に進んだ地域の障がい福祉を住民全体で確認し、一層の前進を図るため、フォーラムを開催。平成27年12月12日に諏訪市総合福祉センターを会場に開催。多彩な内容で終日賑わい、参加者は500人以上。内容：映画上映（フランス映画『奇跡のひとーマリーとマルグリット』）、講演会（『塀の中の現実』講師：山本譲司氏）、書道パフォーマンス（諏訪実高書道部の協力により障がい当事者が舞台上で書道）、演奏会（地元の障がい者四組が出演）、バザール（18事業所による物販、33事業所パネル展示）、地域との交流をめざした周知活動（地元の区長に回覧依頼）



【感動の書道パフォーマンス】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

「みんなで支える」から「ともに生きる」へ。この10年で変わった地域の「今」を確認、参加者500人以上が来場し、共生社会を実感した集いとなりました。特に、書道パフォーマンスでは、障がいのある女の子と高校生たちのひたむきさが溶け合い、会場が一体となって多くの人が涙を流していました。演奏会は地元の障がい者自身が出演し、人前で堂々と演奏する姿が感動を呼びました。バザールも、圏域始まって以来の18事業所が集結。33事業所のパネル展示とあわせ、まちが変わりつつある「今」を実感できました。

#### 【目標・ねらい】

- ① 諏訪の障がい福祉の今を確認
- ② 障害者も含め、前に出る機会に
- ③ 地域、高校生との交流・連携
- ④ 400名以上の参加

#### ※自己評価【A】

【理由】目標の400人をはるかに超え、500人以上が来場。(25年度152人、26年度274人)内容も充実し、多くの方が感動。共生社会の実現に向け、希望が持てる機会となった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・ 共生社会の実現に向けて、フォーラムの熱気を地域に伝えていく。
- ・ 事業所同士の交流が進んだので、一緒に行く機会を増やす。
- ・ 高校生の参加による効果が想像以上だったので、書道ばかりでなくファッションショーなども含め、今後の交流を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある